

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
生命倫理		選択	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
松崎 昇	教員控室	kyoumu	Teams で随時質問等受付		
授業の目的・概要	<p>【目的】現代は歴史の大きな転換期にあり、前途不明感が強い。しかしそれは若者にとって大いなるチャンスでもある。このチャンスを生かすためには、事態をしっかりと把握し、自ら能動的に関与していかなければならない。</p> <p>本科目は、学生が現代社会の応用倫理的諸問題、なかんづく生命倫理上の諸問題に積極的に関心を持ち、自分なりにあれこれ調査・考察・発表・議論できるようにすることを目的とする。</p> <p>特に、看護師を目指すみなさんは、将来、生命倫理的な諸問題に真正面からぶつかることになる。そこに正解はない。本科目で、看護師として行動する際の確かな倫理的指針を、各自が理解することができよう。大方の受講を強く勧める。</p> <p>【概要】①人間論・②倫理学という基本を踏まえ、かつ③現代社会が抱える応用倫理的諸問題を概観したうえで、④生命倫理の全体像・具体的諸相・現実的諸問題を体系的論理的に考究していく。</p> <p>⑤終盤の第13～15回には、Active Learningを行う。</p> <p>【Group Power Point発表・質疑応答、Group Debate、Total Discussion】という三形態を用意している。Exciting & thrillingな3回となろう、お楽しみに。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	1. 国内外の応用倫理・生命倫理上の諸問題に広く関心を持ち、積極的に調べ感じ考えてみる。こと。 2. 毎回の授業で用いる Power Point 資料を事前に up する予定である。 あらかじめ目を通していただくことを勧める。				
教科書	使用しない。				
参考書	授業中に適宜紹介する。				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	人間論・倫理学について、基本的な事項を説明することができる。		HSU(1)(2)(5).NS(1)(5)		
②	現代における応用倫理的諸問題について、さまざまな角度から調査・考察できる。		HSU(1)(2)(5)(6).NS(1)(5)		
③	特に生命倫理の全体像・諸相・諸問題について、体系的に説明することができる。		HSU(1)(3)(5)(6).NS(1)(3)		
④	生命倫理等に関し、受講生同士でさまざまな発表・対論・討論することができる。		HSU(1)(4)(6).NS(1)(2)(4)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	科目の Guidance。 人間を学ぶ 1 (物質の展開、文化の過剰性)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
2	人間を学ぶ 2 (人類の地歴的展開、現代)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
3	倫理を学ぶ 1 (義務論、帰結主義)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
4	倫理を学ぶ 2 (徳論、応用倫理学)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
5	現代経済倫理を学ぶ (企業倫理、地球倫理)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
6	現代国家倫理を学ぶ (政府倫理、世界倫理)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
7	現代意識倫理を学ぶ (科学倫理、存在倫理)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
8	生命倫理を学ぶ 1 (全体像：四原則等)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
9	生命倫理を学ぶ 2 (産む・産まれる：中絶等)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
10	生命倫理を学ぶ 3 (生きる：再生医療等)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
11	生命倫理を学ぶ 4 (死ぬ：安楽死等)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
12	Active Learning のための Guidance。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
13	AL1：受講生による Group Power Point 発表。	発表	指定課題に取り組む。	4	
14	AL2：受講生による Group Debate。	対論	指定課題に取り組む。	4	
15	AL3：受講生による Total Discussion、まとめ。	討論・講義	指定課題に取り組む。	4	
試	期末 Report。 (達成度評価・評価のポイントを参照)				

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	30	40	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を発見・解決する力	0	10	10	0	10	30	
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①						
	②						
	③						
	④						
レポート	①	✓	期末 Report を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察の質量等に着目する。			Comment を付け、返送する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
成果発表	①	✓	受講生による [①Group Power Point 作成・発表・質疑応答、 ②Group Debate、③Total Discussion] を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察・発表・発言の質量等に着目する。			Comment を付け、結果を公表する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①	✓	毎回提出する課題を評価する。 調査・考察の質量等に着目する。			Comment を付け、返送する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	なし						
実践的授業の内容	なし						
その他	1. 授業は教室対面方式であるが、課題は Teams を用いて提示・回収・返却する予定である。 念のため通信容量無制限の Wi-Fi 環境の確保を勧める。 2. 授業進度等によっては、シラバスの変更もありうる。その場合には事前に告知する。						